

# KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



**大場文乃 ちゃん**  
(令和3年5月生まれ・水海)  
食べる事大好きなフミちゃん。元気に大きくなってね。  
(父：雄人、母：有美)



**池原徠華 ちゃん**  
(令和3年8月生まれ・諸川)  
これからも元気にスクスクかわいく育ってね♡  
(父：健人、母：里奈)



**渡邊澄一 くん(左)**  
**凜津 くん(右)**  
(令和3年5月生まれ 平成31年4月生まれ・諸川)  
いつもニコニコ兄弟★仲良  
く元気に育ってね!!  
(父：貴仁、母：彩那)



**山田琉 くん(右)**  
(令和2年6月生まれ・東間中橋)  
ここにコイタズラ大好き琉君。元気に大きくなってね♪  
(父：竜也、母：智美)

お子さんの写真を募集中! <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課☎92-3111)へ申し込みください!



## わたしの夢

### 人を助ける医者を目指して

石原大馳さん 八俣小学校6年生

ぼくの将来の夢は、医者になることです。なぜなら、ぼくのおじいちゃんがお医者さんに助けてもらったからです。

ぼくのおじいちゃんは、手術を2回しました。1回目は、簡単な手術でした。だけど、2回目は、難しい手術でした。手術の日、とてもどきどきしていました。家に帰ると、お母さんから手術が成功したことを聞きました。その時、お医者さんに「ありがとう」という気持ちになりました。ぼくも、勉強をがんばって人を助けられる医者になりたいです。



## キラリ 古河ビト

### おいしそつ!と思われる絵を

今後の活躍が期待される若手油絵作家

石川理恵さん(23歳・本町)

見たもの、そこにあるものをまるで写真のように鮮明に描く写実画を得意とする石川さん。自身の代表作「SUSHI」は、80周年記念創元展で一般の優れた作品に与えられる柏賞を受賞しました。初の個展開催に向けて準備を進める石川さんに、作品にかける思いや今後の活動について伺いました。

幼い頃から絵を描くことが好きだった石川さん。小学2年生の時、市内にある絵画教室アトリエオギノに通い始めました。5年生の頃、祖父が使っていた油絵の道具一式が家で見つかったことがきっかけで、油絵を習うようになったそうです。もともとは空想画を描くことが好きだった石川さんですが、対象物を観察していくうちに、精密に描きたいという気持ちが芽生え、写実画を描き始めます。高校進学後は長い歴史と伝統ある創元展に毎年応募し、画家を目指すために芸術大学に進みました。

大学2年生の時、公募展に応募した「卵」が最優秀賞を受賞。教授に報告しますが「おまんじゅうにしか見えない」と言われたことで、細部まで観察し、より精密に描こうとますます写実画に夢中になりました。石川さんが得意とする本物さながらのつや感は、写真と見間違えてしまうほどリアルで、見る人を驚かせます。自分の作品を見た人が「おいしそつ」と言ってくれることが何よりも嬉しいそうです。

絵は写真と違い、描きたいものを自由に描けるところが魅力だと語る石川さん。自身初となる9月の個展開催に向け、今日も真っ白なキャンバスに大きな夢を描いています。



▲創元展で柏賞を受賞した「SUSHI」



▲小学5年生の頃から愛用している道具



▲真剣な表情で作品を制作する石川さん